



杉 浦 敏 議員

22年度から始まる公共下水道事業の 財政負担をどう考えているか

問

公共下水道事業（「関連記事6面」）について尋ねる。

- (1) 22年度から供用される第1期区域
- (2) 第2期以降の計画
- (3) （使用料収入で）採算が取れず、多くの財政負担が必要となるが、どう考えているか。
- (4) 市民の理解が進んでいないと感じるが、どう考えているか。

公営企業的な経営 重視の運営をしたい

答 下水道課長

(1) 市の計画面積852haのうち約130haである。ほぼ全域となるのが平島、一部区域となるのが鎌島、操出、三稲、稲狐を予定している。

- (2) 供用開始地区の周辺を、年間約20ha整備を進める計画である。



整備の進む下水道工事（平島地内）

- (3) 下水道は多大な費用がかかることを十分考慮し、使用料金等の設定を考えている。

今後、公営企業的、経営観念を重視した運営を心掛けていこうと考えている。

答 市長

- (4) 接続地域で地元説明会を繰り返し行っている。説明会を重ねつつ、広報等を利用しPRしていきたい。

バス見直しは無料を 目標にしてほしい

問

巡回福祉バスの見直し（「関連記事11・12面」）について尋ねる。

- (1) アンケートをすると聞いたが、具体的な方法は。
- (2) 有料化の話もあるが、できれば一律無料を目標にし、とりわけ高齢者、子ども、障害者は原則無料にすべきと考えるがどうか。

十分論議していきたい

答 総務部長

- (1) 約1,000人を対象にした住民意向調査、駅や病院等公共施設の回収ボックスによる調査、バス利用

- 者にアンケートをとってきたい。
- (2) 有料、無料の問題は、十分論議をしていきたい。

福祉タクシー助成 の金額上乗せを

問

障害者福祉タクシーについて、病院等の遠距離に住む人に、金額の上乗せをしてほしいがどうか。

21年度から対象を 拡大したい

答 福祉課長

心身障害者の場合、中型タクシー利用時に60円を助成する利用券を年間36枚交付している。

現在、身体障害者手帳と療育手帳の交付を受けた人を対象としているが、21年度からは精神障害者保健福祉手帳交付の人も対象とするよう、準備を進めている。